

目 次

『令和の神輿 誕生物語』によせて	星 和 彦		
1章 令和の神輿—榛名神社にて (文：石川)	1		
1-1 神輿の新調	1		
1-2 天然乾燥のヒノキ	4		
1-3 作業の工程	8		
1-4 冬の寒い作業場で	10		
2章 宮神輿の意匠と構造 (文：石川)	13		
2-1 神輿の構成—有機体としての	13		
2-2 総合芸術としての神輿	14		
2-3 神輿の様式的特徴	16		
2-3-1 支持する箱台輪の意匠—大地を堅固に担ぐ	17		
2-3-2 斗拱の組物と堂の意匠—木を緻密に組む	18		
2-3-3 飛翔する屋根の意匠—威厳を華麗に彩る	20		
2-4 図解 榛名神社の宮神輿 (作画：木暮)	24		
3章 宮神輿の魂—宮大工の技と知恵 (文：平柳)	46		
3-1 平成から令和へ	46		
3-2 宮大工への道	47		
3-3 宮大工の仕事	49		
3-4 宮大工の道具と技	52		
3-4-1 大工の道具	52		
3-4-2 道具の手入れ	55		
3-4-3 宮大工の技と知恵	56		
3-4-4 技の継承	57		
4章 宮神輿の精神—祭りに託すこと (文：石川)	59		
4-1 沼田祇園祭「おぎょん」	59		
4-2 榛名大神の榛名神社	62		
4-3 牛頭天王の須賀神社	64		
4-4 神霊と「無」としての空間	66		
おわりに	70		
参考文献、写真出典			